

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名	所在地				
京都動物専門学校		平成8年11月15日		木原 茂弘	〒612-0068 京都府京都市伏見区桃山福島太夫西町6 (電話) 075-603-0518				
設置者名		設立認可年月日		代表者名	所在地				
学校法人南京都学園		昭和50年3月31日		理事長 本部 広樹	〒619-0245 京都府相楽郡精華町下狹中垣内48 (電話) 0774-93-0518				
目的		<p>本校は教育基本法及び学校教育法に基づき商業の実務に関する専門知識及び技能を習得させ、創造性豊かな人材を育成することを目的とする。SKILL・LOVE・BUSINESS『確かな技術と人や動物に対する愛情』また『「好き」だけじゃできない…だから、京都動物へ』をキャッチコピーに動物系とビジネス系の二本柱を教育の中心に置き、これから動物業界の未来を担う人材の育成を目指している。</p> <p>今までにない新しい動物系の学校としてのあり方を常に創造し挑戦していく。</p>							
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与			
商業実務 専門課程	ペットビジネス学科	2年(昼)	トリマーコース 動物看護師コース	1,890 単位時間 2,030 単位時間	平成10年 12月21日	-			
教育課程	講義	演習		実験	実習	実技			
	トリマーコース 1,020単位時間	30 単位時間	- 単位時間	1,320単位時間	- 単位時間	- 単位時間			
	動物看護師コース 1,335単位時間	180 单位時間	- 单位時間	1,010単位時間	- 单位時間	- 单位時間			
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数					
160人	128人	8人	14人	22人					
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	<p>■成績表(有・無)</p> <p>■成績評価の基準・方法について 定期試験の成績、出欠等により総合的に評価する。</p>					
長期休み	■学年始め：4月10日 ■夏季：8月13日～9月30日 ■冬季：12月25日～1月8日 ■学年末：3月31日		卒業・進級条件	<p>トリマーコースは所定の科目を1年次960時数、2年次840時数以上習得し学費を完納すること</p> <p>動物看護師コースは所定の科目を1年次960時数、2年次840時数以上習得し学費を完納すること</p>					
生徒指導	■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 面談・電話連絡・家庭訪問等		課外活動	<p>■課外活動の種類 京都市家庭動物相談所等</p> <p>■サークル活動(有・無)</p>					
就職等の状況	■主な就職先、業界 ペットショップ・動物病院等 ■就職率 89.8% ■卒業者に占める就職者の割合 96.6%		主な資格・検定	トリマーライセンス 認定動物看護師 マイクロソフトオフィススペシャリスト 愛玩動物飼養管理士					
中途退学の現状	<p>■中途退学者 12名 ■中退率 9.4%</p> <p>平成27年4月1日在学者 128名 (平成26年4月入学者を含む)</p> <p>平成28年3月31日在学者 116名 (平成27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由：経済的理由・病気療養・進路変更等</p> <p>■中退防止のための取組：生徒とのコミュニケーション・面談・個別相談・クラス担任制の導入 等</p>								
ホームページ	URL: http://kyoto-dobutsu.mkg.ac.jp								

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本学園の教育理念及び本校商業実務専門課程ペットビジネス学科の教育目的を実現するため、ペットショップや動物病院等の動物関連企業の要望や社会的ニーズを十分に考慮し、必要となる実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成においては、組織的に企業等と連携し職業教育の改善と充実を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
木原 茂弘	京都動物専門学校 校長
若松 久雄	京都府獣医師会 副会長・事務局長
吉田 龍一郎	吉田家畜病院 院長
高橋 佳代子	関西動物看護教育研究会 理事
山本 美貴子	ミキコドッグスクール 代表
岩永 健	エル動物病院 院長
中嶋 慶喜	ドッグサロンREVE(レーヴ)オーナー
中本 敦史	学校法人南京都学園 法人本部企画室次長
大塚 浩也	京都動物専門学校 副校長
平岡 俊一	京都動物専門学校 事務長
寺岡 朋美	京都動物専門学校 学科長
稻原 美穂子	京都動物専門学校 教務主任
中井 澄子	京都動物専門学校 進路主任
小西 美恵	京都動物専門学校 入試・広報主任

(開催日時)

第1回 平成28年 9月29日 13:00~15:00

第2回 平成29年 3月 予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

動物業界全体の発展を目指すため、動物関連企業と互いに協力し次世代の動物業界を担う人材を育成する。「命の大切さ」を常に念頭に置き、動物単科の専門学校として動物分野に特化した教育に全力で取り組んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ドッグトレーニング演習	犬のボディーランゲージと犬の理解	ミキコドッグスクール
グルーミング実習Ⅰ	基本的なグルーミングの知識・技術	ドッグサロンREVE(他57企業)
グルーミング実習Ⅱ	高度なトリミング技術と応用力	ドッグサロンREVE(他57企業)
動物臨床検査学実習Ⅰ	臨床検査の理解	関西動物看護研究会
動物臨床検査学実習Ⅱ	検体検査及び生体検査	関西動物看護研究会
動物看護実習Ⅰ	基本的な看護法に関する観察力と手技	エル動物病院
動物看護実習Ⅱ	看護実習Ⅰを基盤とした実践能力と応用力	エル動物病院

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

最新の実務を本校の教育に反映させるため、京都動物専門学校、教育研修規程に基づき、組織的に研修機会を確保する。集団個人を問わず、職業能力の開発、向上を図るために、あらゆる機会と方法を利用して実施する。特に学校外研修では、外部と交流しながら研修することとなるため、教員にとって大きな刺激となる。必要な専門知識を習得するための研修を計画的に受講できるようになるとともに、プロフェッショナルとして必要な能力を養成するための研修には、積極的に参加する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 4 月 1 日現在

名 前	所 属
木原 茂弘	京都動物専門学校 校長
吉田 龍一郎	吉田家畜病院 院長
中嶋 慶喜	ドッグサロンREVE（レーヴ）オーナー
中本 敦史	学校法人南京都学園 法人本部企画室次長
平尾 克英	京都福祉専門学校 副校長・事務長
塩見 浩二	京都廣學館高等学校 教頭
島田 真奈美	京都動物専門学校 法人本部企画室 入試広報部主任
大塚 浩也	京都動物専門学校 副校長
平岡 俊一	京都動物専門学校 事務長
寺岡 朋美	京都動物専門学校 学科長
稻原 美穂子	京都動物専門学校 教務主任
中井 澄子	京都動物専門学校 進路主任
小西 美恵	京都動物専門学校 入試・広報主任

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://kyoto-dobutsu.mkg.ac.jp/about/publicinfo/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://kyoto-dobutsu.mkg.ac.jp/about/publicinfo/>

授業科目などの概要

平成28年度 商業実務専門課程ペットビジネス学科（トリマーコース）

必修	選択必修	自由選択	授業科目	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
								講義	演習	実験・実習・実技
○			犬 学	犬の進化や本能・学習理論を学び、愛情をベースに科学的に考える	1後	30		○		
○			犬 種 学	犬の体に関する知識とスタンダード（犬種標準）及びグルーミング・トリミングとは何かを理解する	1前	30		○		
○			動 物 医 療 学	犬についての基本的な知識と、犬の体の構造や機能について学び理解する	1前	30		○		
○			動 物 公 衆 卫 生 学 I	感染症についての基本的な知識を身につけ、その原因となる病原微生物について学習する	1後	30		○		
○			動 物 公 衆 卫 生 学 II	感染症の予防並びに人獣共通感染症について学習する	2後	30		○		
○			ドッグトレーニング 演習	犬のボディランゲージと学習方法を学び、実際に犬と接することでより犬への理解を深める	1前	30			○	
○			動 物 飼 養 管 理 学	愛玩動物の基本的な生態及び飼育を学び、愛玩動物飼養管理士2級の受験に向けて試験対策をおこなう	1通	60		○		
○			グルーミング 概 論	トリミングの知識・向上意欲を高める	1通	60		○		
○			動 物 介 在 福 祉 論	犬ら猫の社会背景を知り動物が人間社会で共生していくための方法を学ぶ	1通	60		○		
○			動 物 福 祉 論	動物福祉の現状や問題点、解決策について考え、動物愛護及び法律の改正点や今後の課題について学ぶ	1通	30		○		
○			動 物 栄 養 学	犬・猫が必要とする栄養素を理解し、ライフステージ別の栄養管理、ペットフード市場などについて学ぶ	2後	30		○		
○			動 物 生 理 学	犬の些細な変化に気づき病気の早期発見、早期治療に繋げることができる知識を身につける	2後	30		○		
○			動 物 学	ペットに関わる仕事に携わるのに必要な動物の基礎的知識を修得する	2前	30		○		
	○		動 物 健 康 管 理 学	ペットとして扱われる動物の飼育や健康管理についての知識を修得する	2通	60		○		
○			アニマルセラピー（福祉連携）	動物介護療法・動物介在活動・動物介在教育等、動物を介したセラピーの基礎と実務ケースについて学ぶ	2通	60		○		
○			猫 学	猫の歴史、体の構造、飼育管理、猫種ごとの性格など、猫に関する知識を深める	2前	30		○		
○			ペ ッ ト 檢 定 対 策	動物愛護社会化検定専門級試験の合格対策	2後	30		○		
○			エ キ プ チ ッ ク ア ニ マ ル	動物全般の分類や生態についての知識を修得し、動物保護論の講義と連動した自然観察を行う	2通	60		○		
○			動 物 保 護 論	飼養動物や野生動物、自然の保護についての現状に触れ、エキップチックの講義と連動した自然観察を行う	2通	60		○		
○			猫 学	猫の歴史、体の構造、飼育管理、猫種ごとの性格など、猫に関する知識を深める	2前	30		○		
○			ペ ッ ト 檢 定 対 策	動物愛護社会化検定専門級試験の合格対策	2後	30		○		
○			グルーミング 実習 I	犬の扱いやトリマーとしての心構えといった基礎力を中心に、スタッフでのコミュニケーションや接客の重要性を学ぶ	1通	480				○
○			グルーミング 実習 II	犬種ごとの特徴を理解し、正確な技術・応用力を身につけ即戦力につける	2通	480				○
○			グルーミング 実習 III	学生の意識からプロの意識へと変化させ、プロのトリミング技術を身につける	2通	240				○
○			ペ ッ ト ビ ジ ネ ス 学	動物に関わるビジネスの特徴、あり方の基本を学ぶ	1通	60		○		
○			インターンシップ I	職業観を確立し、自主性（自己啓発・自己責任・自立）を身につけ、必要なマインドを醸成する	1後	30		○		
○			インターンシップ II	就職活動に向けて自分自身の強みを把握し、職業観を確立するとともに接遇やコミュニケーション能力を身につける	2前	30		○		
○			コンピュータ実習 I	文書作成ソフト（Word）を利用して、文書作成に関する技法を習得（Microsoft Office Specialist）	1通	60				○
○			コンピュータ実習 II	表計算ソフト（Excel）を使いデータの活用方法を学ぶ（Microsoft Office Specialist）	2前	60				○
○			ビジネスマナー 一般常識	ビジネス実務遂行のために必要なスキルを身につけ、社会人としての資質を磨き、就職活動に望む	2前	30		○		
	○	○	シ ョ ツ プ 会 計	ペットショップ等の商品販売業経営に不可欠とされる簿記について学ぶ（日商簿記検定3級合格を目指す）	2通	60		○		
合 計					31科目			2,370時間		

授業科目などの概要

平成28年度 商業実務専門課程ペットビジネス学科（動物看護師コース）

必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
								講義	演習	実験・実習・実技
○			動物機能形態学Ⅰ	動物の生命維持の仕組みと解剖学および生理学の基礎を理解する	1通	120		○		
○			動物疾病看護学Ⅰ	チーム獣医療の場で必要な病名や診断名を学習。また、治療方針の理解度を高め疾病について学ぶ	1通	60		○		
○			動物感染症学	感染症の原因・経路・予防を理解する	1通	60		○		
○			動物公衆衛生学	公衆衛生のために必要な知識を理解し活用する	1通	60		○		
○			動物健康管理学Ⅰ	健常なイヌ・ネコに必要な日常ケアと適正飼育を理解する	1通	60		○		
○			動物福祉論	動物看護師としての考え方、動物と関わる人間としての心構えを学ぶ	1通	60		○		
○			飼養管理学	自分たちに関わる動物の特徴を知り、適正な管理ができるようになる	1通	60		○		
○			臨床動物看護学Ⅰ	動物看護師の視点で疾病動物看護学で学んだ概要を復習し、動物看護師の役割、目的などを振り返る	1通	60		○		
○			幼齢動物・老齢動物管理	イヌ・ネコの新生仔期～幼年期の管理と看護を学ぶ。また、老齢期の機能形態の変化、疾病について学ぶ	1前	30		○		
○			クライアントエデュケーション	健康維持、適正飼育の啓発と飼主への指導を学ぶ	1後	30		○		
○			動物病理学	発病のメカニズムとその病理学的特長を理解し、解剖学、生理学や薬理学の知識を深め看護に役立てる	2通	60		○		
○			動物薬理学	薬が作用する過程を理解し、動物の病態、治療薬の薬理作用、機序、臨床応用及び副作用を学ぶ	2通	60		○		
○			動物栄養学	犬猫の栄養代謝とペットフードについて	2通	60		○		
○			動物医療関連法規	動物に関する条例及び法律を学ぶことにより、社会における人と動物の関係性や保護制度などを理解する	2通	60		○		
○			院内コミュニケーション	動物病院内での接遇マナーとホスピタリティを考え演習する	2通	60		○		
○			動物機能形態学Ⅱ	動物の体の仕組みを理解することにより、動物の疾病、検査、治療についての基礎知識を修得する	2通	60			○	
○			動物疾病看護学Ⅱ	チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学び、主な疾患の機序及び症状、検査法、治療法を理解する	2通	120		○		
○			動物健康管理学Ⅱ	適切なウェルネスプログラムに必要な知識を学ぶ	2通	60		○		
○			臨床動物看護学Ⅱ	多様な症状別及び臓器別の看護のポイントを学ぶ	2通	60		○		
○			救急救命対応	応急処置と院内の急患の対応	2前	15		○		
○			動物臨床検査学実習Ⅰ	臨床現場において日常的に行う臨床検査を理解し、効率よく行えるようにする	1通	120			○	
○			連携施設内研修Ⅰ	インターンシップ		90				○
○			動物看護実習Ⅰ	院内の看護師業務	1通	120				○
○			グローミング実習	基本的なグローミング知識・技術の習得と飼い主とのコミュニケーションや接客技法を学ぶ	1通	240				○
○			動物臨床検査学実習Ⅱ	臨床現場において日常的に行う臨床検査を理解し、効率よく行えるようにする	2通	120				○
○			連携施設内研修Ⅱ	インターンシップ		140				○
○			動物看護実習Ⅱ	院内の看護師業務（入院、管理、処置など）	2通	120				○
○			外科動物看護実習	周術期の看護、外科看護技術を学ぶ	2通	120				○
○			ビジネススキルⅠ	経営環境、業界の現状を調べ、物事の考え方や判断について学ぶ	1前	30		○		
○			コミュニケーション技法基礎	社会人として、また、コンパニオン自然而かかわるプロとしてのマーケティングの基本を身につける	1後	30		○		
○			コンピュータ実習	マイクロソフトオフィススペシャリスト検定	2前	60				○
○			ビジネススキルⅡ	就職に向けて、社会の仕組みや企業経営の仕組みを知る。専門職に求められるビジネススキルを磨く	2前	30		○		
○			コミュニケーション技法応用	社会人として、また、コンパニオン自然而かかわるプロとしてのマーケティングの応用を身につける	2後	30		○		
○	○		認定動物看護師の理解	全ての授業をトータルに学び、認定試験に向けて学習する	2後	60		○		
合計				34科目	2,525時間					